

令和7年度 中能登町立鹿西小学校 学校経営方針

校訓

「一日生きることは 一步進むことでありたい」

湯川秀樹博士

千ーム
鹿西小

1 教育目標

ふるさと鹿西に愛着と誇りを持ち、未来を切り拓く資質・能力の育成
～主体的、対話的に学び合い、自分を磨き上げる児童の育成～

2 めざす学校像

○Well Being(安心・安全)

児童・教職員が安心して楽しく学び、協働する学校

○信頼

家庭・地域から信頼される学校

○児童が主役

子どもを主語にする教育を実現する学校



3 めざす児童像

○かしこい子

進んで学び、よく考える子

○やさしい子

思いやりのある心豊かな子

○たくましい子

心身共に健康で、粘り強く取り組む子



低学年「自立」

中学年「協調」

高学年「貢献」

4 めざす教職員像

○自らの責務を自覚し、向上心を持って学び続け、学習者主体の授業に取り組む教職員

○児童の心理的安全性を確立するために情報を共有（報連相を徹底）し、チームで対応する教職員

○心身の健康と業務改善に高い意識を持ち、支え合い、高め合う教職員



教職員「協働」

令和7年度 重点

1 確かな学力を育む

- (1) 学習規律と基礎学力を確実に定着させ、個々に応じた指導の工夫を実践する。⇒「**聴く**」力
- (2) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の視点を踏まえ、子どもが「分かる授業」を目指す。
- (3) 主体的・対話的に学び合う中で、ねらい達成のためにタブレット端末を効果的に活用する。

2 豊かな心・健やかな体を育む

- (1) 良好な人間関係構築やコミュニケーション力を育む取組、児童が主体的に考えた行事や学習活動を通して達成感を実感できる取組を実践する。⇒いじめの未然防止・早期発見・迅速な対応
- (2) 基本的な生活習慣の定着を図る。⇒保護者への啓発・**食育**の充実
- (3) 自己目標を設定し、主体的に体力向上に取り組むことができる体育的活動を工夫する。

3 「教師力」を伸ばす

- (1) 「**教師は授業で勝負する**」という意識を持ち、学校研究に沿った共通理解と共通実践を行う。
- (2) タブレット端末と対話を生かした**学習者主体の授業**を実践する。⇒授業参観交流・校内研修
- (3) 研修履歴を活用した適切な受講により、自らの教師力を伸ばす。⇒「**学び合う**」教師集団

4 信頼される教師・学校を目指す

- (1) 教育公務員としての自覚を持ち、働き方を意識した**自己管理能力**を高める。
- (2) 保護者や地域の声を真摯に受け止め、対応を丁寧かつ迅速に行う。⇒マナーの徹底
- (3) **丁寧な情報発信**を行い、学校としての説明責任を果たす。⇒ホームページ・各種通信の充実

5 危機管理の徹底を図る

- (1) 危険を予測し、未然に防ぐ最大の努力をする。⇒防災教育の充実・**児童の心のケア**
- (2) 保護者や地域への対応については、事前に管理職と対応を相談する。⇒「**報連相**」の徹底
- (3) 日常的な授業参観及び施設の見回りを行う。⇒**気づきの共有化**